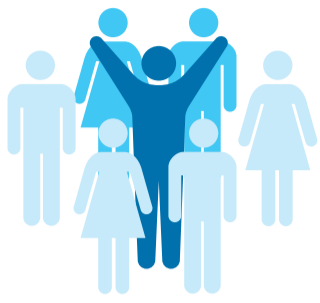


People-Centered Care ピープル・センタード・ケア ～市民が主体となるケア～

PCCガイド



聖路加国際大学
国際地域連携センター PCC開発・地域連携室

1

People-Centered Care ピープル・センタード・ケアとは

People-Centered Care (PCC) とは、市民が主体となり、保健医療専門職とパートナーを組み、自分の健康課題の改善に向けて取り組むことです。



2

People-Centered Care ピープル・センタード・ケア ～市民が主体となるケア～



市民と専門職との関係

医療の関わりの観点から見た市民と専門職とのパートナーシップの型は3タイプあります。

- ①「アプローチ型」
健康課題が明確になっていない市民に、アプローチする専門職との関係
- ②「サポート型」
健康課題を持ちながら生活している市民を、サポートする専門職との関係
- ③「共同推進型」
健康課題に対して主体的に取り組む市民を、推進する専門職との関係



3

パートナーシップに必要な 8つの要素

健康課題の改善に向けて、市民が主体となり、専門職とパートナーを組みます。同じ目標に向かって取り組む際に、市民と専門職とが互いに、以下の8つの要素を持つことが大切です。

1. 互いを理解する
2. 互いを信頼する
3. 互いを尊敬する
4. 互いの持ち味を活かす
5. 互いに役割を担う
6. 共に課題を乗り越える
7. 意思決定を共有する
8. 共に学ぶ

4

市民と専門職との パートナーシップの 型と要素

PCCは、3つのパートナーシップの型と、パートナーシップに必要な8つの要素でできています。



5

PCCの流れ

People-Centered Careは、市民または専門職のどちらかが、個人や集団（地域社会）の健康課題に気づくところから始まります。その後、市民が主体となって、専門職とパートナーを組み、共に目標を決め、計画し、実行し、評価していきます。そして、一緒にケアの成果を共有します。これが一連の流れになります。



6

PCCの3つの成果

- ①目標が達成される
PCCの取り組みにより、市民と専門職と共に決めた目標が達成されます。
- ②個人の力がつく（個人変容）
市民は健康情報や、相談できる人や場が増えます。また、専門職と相談できる関係を築くこともでき、健康情報を見極める力も磨かれます。さらに、取り組む意欲も高まり、生活の質の向上も期待されます。これらの変化は、専門職にも期待されることです。
- ③社会が変わる（社会変容）
地域社会における課題の改善も期待されます。新たな社会システムの構築、ケアの開発、団体の確立、制度の導入も期待されます。

7

People-Centered Care の成果

PCCの取り組みにより、「定めた目標の達成」「個人変容」「社会変容」の3つの成果が期待されます。



8

互いを理解する

市民と専門職が、健康課題の改善に向けて、共に歩み寄り、互いを分かり合うことです。

例えば…

- 互いに自己紹介をしているか
- 互いの考え方や気持ちを理解しようとしているか



9

互いを信頼する

市民と専門職が、健康課題の改善に向けて、互いを信じ合えることです。

例えば…

- 互いにパートナーとして認め合っているか
- 率直に意見を伝え合っているか



10

互いを尊敬する

市民と専門職が、健康課題の改善に向けて、互いに尊敬し合い、敬意をもって接することです。

例えば…

- 互いに意見を尊重し合っているか
- 互いに敬意をもって接しているか



11

互いの持ち味を活かす

市民と専門職が、健康課題の改善に向けて、互いの知恵と技を出し合うことです。

例えば…

- 相手への期待を伝え合っているか
- 互いの長所を伝え取り組んでいるか



12

互いに役割を担う

市民と専門職が、健康課題の改善に向けて、互いに役割を担うことです。

例えば…

- それぞれが役割を持っているか
- それぞれの役割を認識し、取り組んでいるか



13

共に課題を乗り越える

市民と専門職が、健康課題を乗り越えるために、共に努力し合うことです。

例えば…

- 直面する課題に対して、共に考えて取り組んでいるか
- 納得するまで話し合っているか



14

聖路加国際大学



作成者：高橋恵子、亀井智子、大森純子、麻原きよみ、菱沼典子、有森直子、田代順子、新福洋子、大橋久美子、朝澤恭子、中村めぐみ、射場典子

(2017年7月 第1版作成)
(2020年1月 第1版第2刷)
(2022年1月 第2版作成)

本研究はJSPS科研費JP19H03966の助成を受けたものです。

意思決定を共有する

市民と専門職が、健康課題の改善に向けて、同じ目標で物事の決定を共有することです。

例えば…

- 目標を共有しているか
- 納得して決めた物事を共有しているか



15

共に学ぶ

市民と専門職が、健康課題の改善に取り組む過程で、互いに学び合うことです。

例えば…

- 健康課題の改善に役立つ情報を、お互いから得ている
- お互いから学んだことを、言葉で伝え合っているか



16